

## 笠間市指定文化財 楞嚴寺「木造大日如来坐像」など4件指定

笠間市教育委員会は2月26日、市文化財保護審議会（会長 石塚光男）の答申に基づき、以下の4件を新たに市指定文化財として指定しました。今回の4件を加えると、笠間市の文化財は、国指定が8件、県指定が20件、市指定が109件、合計137件となります。

No.	名 称	数	種 類	所有者	所在地
①	木造大日如来坐像	一躯	彫 刻	楞 嚴 寺	片 庭
②	絹本着色阿弥陀三尊・地藏菩薩来迎図	一幅	絵 画	如 意 輪 寺	上 市 原
③	紙本着色十二天屏風（六曲屏風）	一双	絵 画	養 福 寺	大 田 町
④	安居灯籠念仏		無形民俗文化財	下安居公民館	安 居

①



②



③



④



笠間市教育委員会生涯学習課 内線72231

## こんにちは市長室です



山口市長

### 笠間市一期生

笠間市一期生の17名は、本年度採用の笠間市職員です。市職員（消防職除く）は、平成17、18、19年度の3年間に67名の職員が退職をし、採用については、定員削減方針のも行いませんでした。本年度は将来の職員体系を考え、定員管理計画に基づき、一般行政職については退職者の半分を、消防職については退職者数を補充しました。今回採用した17名は、合併後初めて実施した試験の採用者であります。特徴としては、社会人経験者が13名いることです。社会での体験を生かしてほしいと願っています。

新しい職員を迎えることは、市にとっては大きな財産を手に入れたことでもあります。この新人職員が育つのも、育たぬも、本人の努力と上司の指導にあります。行政サービスを行う上では、人は最高の財産であり、一人前になるよう育てていかなければなりません。

新職員はどの顔も精悍で意欲に満ちており、頼もしさややる気を感じました。そして、公務員に一番大切なことは、何人に対しても公平、公正な行政を行うことであり、前例踏襲、計画倒れ、無責任主義的な公務員になるべからず、コスト意識を持つようにと訓示しました。

新職員の皆さんはどうおられたのか。10年、20年後の姿を、そして、部長、課長と呼ばれる姿を想像しました。



新かさま観光大使（右：小田倉雪絵さん、左：内桶かおるさん）と

山口市長  
山口伸樹